

み
か
い

か

い

安住院便り (第17号)

平成18年8月1日発行
〒703-8236
岡山市国富3丁目1-29
住職 生駒琢一
TEL(086)272-2320 FAX(086)273-9327

塔について

瓶井の山に佇む安住院の多宝塔を、どのようにお感じでしようか。

塔はインドで生まれ、ストゥーパと呼ばれ、お釈迦様の骨、即ち仏舎利を奉納安置する建物でありました。皆様が法事の時に用意される卒塔婆（トーバ）も同じ意味で、先祖供養の供養塔が変形したものです。

お釈迦様が生きていた時代には、その教えを実際に聞くことが出来ましたが、涅槃に入られ从からは、仏舎利を信仰することも仏教の大切な教えとなり、舎利塔も建てられるようになりました。インドから東南アジアに多く見られる仏塔がそれです。

その舎利塔が中国に入つて、装飾が加えられ、多層のものや多角形の石造物なども考えられました。そして日本に仏教が伝わると同時に塔も伝えられ、木造建築を中心とした多層の塔になつて來たのです。遠くからでも信仰することの出来る対象でもありました。

真言宗を中心とする密教が盛んになると、舍利を安置する塔ではなく、塔そのものが仏様を表現する考えに発展しました。密教では三昧耶（サンマヤ）形と言うのですが、仏様の持ち物が示されています。

更に真言宗の修行では、両手で仏様の持物の形を示し、口でその仏様の真言を唱え、心で仏様を観じ、仏様と一緒に成ろうと努力するのです。

そんな中、塔で表現されるのが、真言宗の中心の仏様である大日如来なのです。そして、大日如来を示すこの塔は、この宇宙全体を表すことも出来、物質的に構成される、地・水・火・風・空という五つの要素と、識をえた六要素で宇宙は構成されていました。お大師様はお教えになられています。



現代の西洋科学の中に生きている私達には、なかなか理解し難いことかもしれません。少し違う説明かもしれません。少しうまく言葉を構成されると、明かかもしれません、固体・液体・気体と、変化させる熱エネルギー、移動のための運動エネルギーの五つに、それらに影響を及ぼす意識とで、宇宙に存在する全てが構成されていると考えたのです。

佛様も、私達も、更に動物も野山の草木まで、根本的に同じ構成要素であるということは、皆が佛に成り得る素質を持つていうことなのです。その要素を形で表した物が、仏塔なのです。

古観音堂の再建



安住院から多宝塔に上る途中、先師々代々の墓所があるあたりが、昔に本堂のあつた場所です。その墓地の中にひつそりとお堂が建つていて、それが古観音堂です。そのお堂も長年の風雨に遭い、屋根が崩れてしましました。危険もありますので、「みかい靈園」を整備した一貫として、新しく銅板葺きの観音堂を建立致しました。中には千手観音の石像を安置し、昨年修復した龍王堂と共に、瓶井の谷を御守りして頂ける百聞氏の墓も近くにあります。内田百聞氏の墓も近くにありますので、是非お参り下さい。

善通寺創建一千二百年



す。
。

本年は、弘法大師が密教を伝えて還られ、真言宗を興してから千二百年になります。その時に、大師御誕生の地である香川県の善通寺の堂宇を建立されました。よつて善通寺も創建一千二百年に当たり、様々な行事がこの春に開催され、住職も善通寺役員として参加しておりました。御本尊の御開帳や五重塔の拝観などもありましたので、檀信徒の皆様と一緒にお参りも致しました。また機会が有りましたら紹介したいと考えております。

今年の四月二十日～二十一日、西国霊場の巡拝を終えましたので、長野の善光寺にお参りいたしました。



長野善光寺参拝

（木）です。（水）（木）です。

善光寺では、宿坊にて精進料理を頂き、朝早くより本堂にて大勧進の天台宗大僧正にお数珠を頂戴することも出来ました。団参としては十五年ぶりの善光寺でしたが、ゆっくりと説明を受け、天台宗と浄土宗とで御守りしている宗派に属さない信仰の場を改めて感じました。

